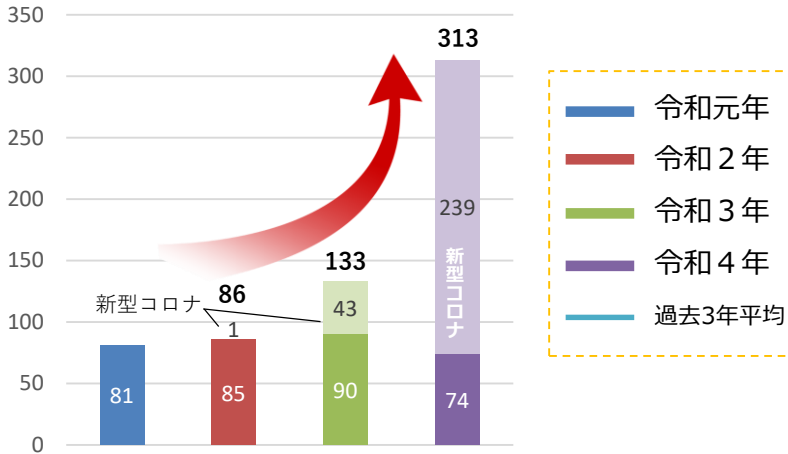


— 北部管内で働く皆様 —

労働災害が増加しています！

皆様の職場は安全でしょうか

※各年の10月末時点において、労働者死傷病報告書の提出件数を集計したもの



check!

令和3年の労働災害発生状況は

前年同期比約74%増

業種別では、

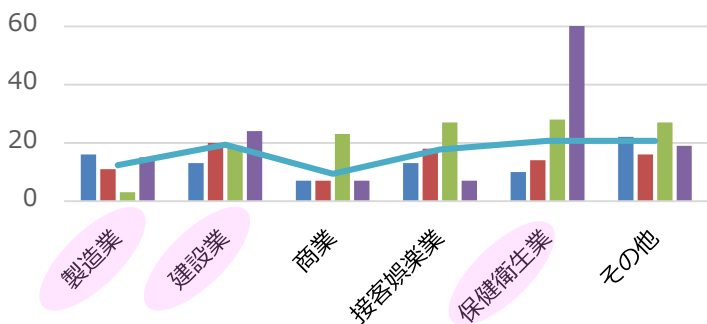
製造業、建設業、保健衛生業

年齢別では、

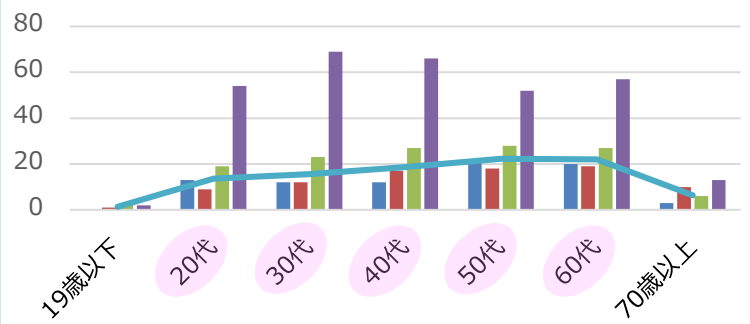
20代～60代

で大きく増加しています。

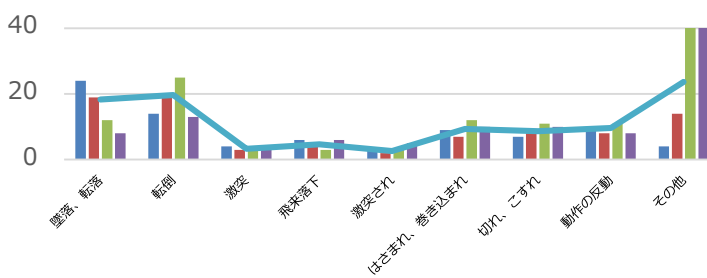
業種別



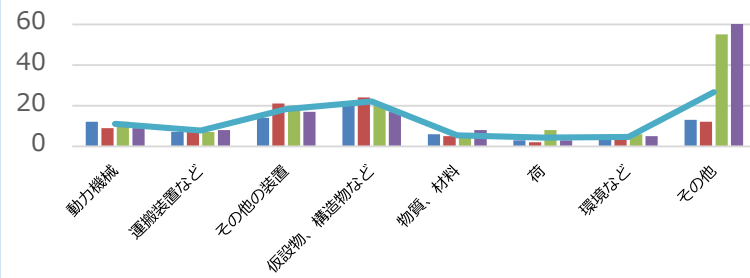
年齢別



事故の型別



起因物別



※その他には、倒壊崩壊、感電などによる災害の他新型コロナウイルス感染症も含まれます。

※その他の装置には、手工具やはしご等が含まれます。
※その他には、新型コロナウイルス感染症などが含まれます。

今一度、安全衛生対策を見直しましょう！

12/1～1/15は年末年始無災害運動期間です！（裏面へ）

2022 2023
12/1▶1/15

迎春



主唱：中央労働災害防止協会
後援：厚生労働省

年 末 年 始 無 災 害 運 動

非常時作業時の災害を防ぐ！

大掃除などで一斉に設備を停止した上で点検や修理を行う「非常時作業」では、「はさまれ・巻き込まれ」などの災害に特に注意が必要です。

事前準備

作業計画書の作成、作業の手順・方法の決定などを協力会社や安全衛生担当部門・関係者が事前に行った上で、リスクアセスメントも実施して調整しましょう。

作業開始前ミーティング

作業の進め方、合図の方法、禁止事項などを確認し、リスク情報を共有しましょう。新型コロナウイルス等への感染防止対策や必要な保護員の着用の確認も忘れずに。



- 1 起動スイッチ等に施錠。複数人で作業する際は各作業者が自分のキーを持つ（ロックアウト）。
- 2 暗い場所は補助照明などで適正な照度を保つ。
- 3 動力を遮断し（電源を切り）、機械設備を完全に停止させ、操作盤等の近くに「点検中のため操作禁止」などの表示をする。
- 4 チェックリストなどを使って漏れなく点検。指差し呼称で手順や安全の状態を確認する。

作業中に不測の事態が生じたら、作業を中断して作業指揮者に報告

合図は大きな声でハッキリと決められた方法で

作業が終了したら…

・無効にした安全装置、取り外した安全カバーなどをもとに戻して、作業場を整理・整頓。
・ヒヤリ・ハット情報などがあれば、作業指揮者に報告。



(中災防 年 末 年 始 無 災 害 運 動)

令和4年度 年 末 年 始 無 災 害 運 動 標 語

待ってます
元気なあなた
明るく迎える年 末 年 始

脚立作業のポイント



- 1 天板の上に乗らない。脚立にまたがらない。
・保護帽や保護手袋を着用する。
- 2 踏さん上で作業する際は、足を軽く開き、脚や膝を軽く天板に当てて体制を安定させる。つま先立ちも危険！
- 3 周囲に「作業中」などの注意喚起の表示をする。
- 4 脚立は原則として2m未満のものを使う。
- 5 脚部に滑り止めの付いた脚立を使用し、開き止め金具を確実にロックする。

物の置き方・持ち方・運び方に注意！

年 末 年 始 の 作 業 中 は、 動 か す 物 も 増 え ま す。 転 倒、 激 突 な ど の 災 害 に つ な が る 不 安 全 な 行 動 を と っ て い な い か、 通 路 の 安 全 が 確 保 さ れ て い る か な ど を 確 認 し ま し ょ う。



チェックしてみよう！ 例えば…

- ☐ 通路や出入り口、階段などに物を放置していないか
- ☐ 床、通路などの水、油、粉類はその都度取り除いているか
- ☐ 安全に移動できるように、十分な明るさ（照度）が確保されているか
- ☐ 台車などは、荷が崩れたりしないよう安全に使用しているか
- ☐ 階段の滑り止めは外れていないか
- ☐ 段差のある箇所や滑りやすい場所に、注意を促すステッカー（標識）を掲示しているか
- ☐ 作業靴の底がすり減って滑りやすい状態になっていないか
- ☐ 転倒などを予防するための教育を行っているか